

カリキュラム名		事業リスクや投資リスク
基本情報	ねらい	リスクマネジメントの必要性を認識するとともに実施プロセスを修得する
	概要・特徴	①リスクマネジメント実施のポイントを理解できる☆ ②演習を通じてリスクマネジメントの実施プロセスを実践的に理解できる
	分野	
	レベル	1. 基礎 2. 標準 3. 応用
	資格	無し
	標準時間	3時間30分
対象	業種	E 製造業
	フィールド	1. 経営者クラス 2. 管理者クラス 3. リーダークラス 4. 担当者クラス
	経験年数	1. 入社～5年 2. 6年～10年 3. 11年～20年 4. 21年以上 5. 不問
	受講条件	リスクマネジメントを基礎から学んでみたい方☆ 自社の現場で起こり得るリスクを調査、洗い出したい方☆ リスクの分析方法などを知りたい方

教科名	内 容	時 間
リスクマネジメントを取り巻く環境変化	・経営トップの役割と責任の明確化(株主代表訴訟など)☆ ・経営トップの関与の必要性	()時間(30)分
リスクの定義・特徴	・目的が達成できない、あるいは費用や損失が予測を上回る可能性(不確実性)☆ ・リスクとリターンの関係(ハイリスク・ハイリターン、ミドルリスク・ミドルリターン、ローリスク・ローリターン)☆ ・ローリスクでも完全にリスクを回避することはできない	()時間(15)分
リスクマネジメントの目的	許容できる費用や損失の範囲内で目標(以上)の成果を獲得すること	()時間(15)分
リスクマネジメント実施のために	・求める成果の内容を明確化する☆ (成果の獲得に期限がある場合その期限を明確化する)☆ ・許容できる費用や損失を明確化する☆ (最低限維持確保すべきものを明確化する)	()時間(30)分
事業リスクの種類	・自然災害、事故、法律違反、政変(現地の投資環境)、価格・為替・金利等の変動リスク、信用リスクなど市場の決定事項によるリスク、詐欺、機密や情報の漏洩、技術の陳腐化(代替技術の出現)、人材や雇用関連、経営トップの意思決定、現場のオペレーション等、外部環境(市場、政府、その他)や内部環境(経営トップの意思決定、現場のオペレーション)に起因するリスクなど様々なリスクがある	()時間(30)分
リスクマネジメントの実施プロセス(Plan・Do・See)	・リスクの発見と洗出し☆ ↓☆ ・リスクアセスメント(分析・評価)☆ ↓☆ ・リスク対策の選択☆ ↓☆ ・リスク対策の実行☆ ↓☆ 有効性の評価☆ ↓☆ フィードバック	(1)時間(00)分
リスク対策の選択	・リスク対策はリスクコントロールとリスクファイナンスに分類される☆ ・リスクコントロール☆ (回避、損失防止(予防)、損失削減、分離・分散)☆ ・リスクファイナンス(移転、保有)☆ ・時間的分散(いつ)と空間的分散(対象(何を)×空間(どこで))	()時間(30)分

実習・演習内容(例)

教科名	内 容	備 品
演習	リスクマネジメントの実施プロセス→リスクの発見と洗出し→リスクアセスメント(分析・評価)→リスク対策の選択→リスク対策の実行→有効性の評価→フィードバック	ワークシート